

HOT LIFE NEWS

清水勝市議会レポート

2017.1.1

【発行】市民フォーラム 市議会報告
〒183-8703 東京都府中市宮西町2-24
HOT LIFE NEWS 清水勝市議会レポート No.11



第4回定例会



12月5日(月)～6月20日(火)の16日間の日程で平成28年府中市議会第4回定例会(12月議会)が開催されました。

常任委員会報告

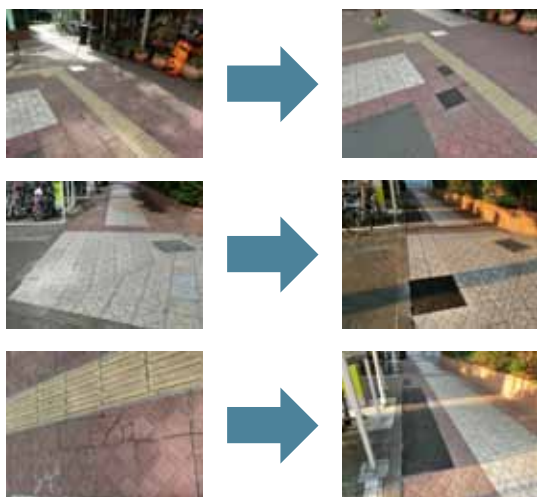
総務委員会では議案4件、厚生委員会では議案4件、陳情1件、建設環境委員会では議案3件、所属する文教委員会では府中駅南口再開発ビルの府中市立府中の森芸術劇場分館における指定管理者の指定についての議案1件と報告2件が審議され、いずれも可決、了承された。

市庁舎建設特別委員会

敷地拡張の進捗状況、新庁舎建設基本設計の概要、全体工程計画および概算事業費の検討状況等が報告され、審議のうえ了承された。

地域活動

1. 分倍河原駅南ロータリー周辺の凸凹改修が行われたが、一部改修されていない箇所での通行に支障があったため担当部署に連絡し補修していただいた。今後も引き続き、改修を進める。



2. 府中市が毎月20日に実施している府中駅周辺清掃に参加した。東芝プラントシステム(株)の皆さんとともに記念写真を撮りました。

府中市の環境政策の取り組みについて



環境政策に関する一般質問前文の要旨

- 地球温暖化の進行で、地球の平均気温は2100年までに3～4℃上昇と予測される。
- COP21が2015年11月、フランス・パリで開催、約140カ国の国際枠組での決意。
 - ・京都議定書以来18年ぶりの法的拘束力のある国際的な合意文書を採択された。
 - ・世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べ、1.5℃に抑える努力を追求すること。
 - ・今世紀後半の温室効果ガス的人為的な排出と吸収の均衡を掲げている。
 - ・5年ごとに貢献内容を提出・更新する仕組み、適応計画プロセスや行動・実施を規定。
- 日本は温室効果ガスの排出量を2030年までに2005年比25%削減。2050年までに2005年比80%削減を目指している。
 - ・2014年度の日本の温室効果ガスの排出量は、13.6億トンと前年度比3%減少した。

Q 近年、様々な異常気象、海面の上昇などに見られるように、地球温暖化は依然として進行しており、現状のままで推移すれば、その影響は生態系に大きな影響を与え、異常気象の発生等、様々な被害が予想されます。—中略(要旨を右上記載)—新エネルギーの検討も含め、今後さらに温室効果ガスの削減に向けて、取り組みを強化していかねばなりません。環境問題は、1人ひとりが自らのライフスタイルを見つめ直すとともに日頃から実践出来る活動の定着が求められています。そこで、

(1)地球温暖化防止対策に向けて

- ①府中市地球温暖化対策地域推進計画の削減目標について、市の考え方と目標達成への対応について
- ②環境にやさしい自動車の普及に向けて、府中市の導入促進状況について
- ③環境に配慮した地域公共交通を守る視点から、広報等を通じての公共交通利用の市民アピールについて

(2)新エネルギーの普及について、自然資源の節減や環境保護に寄与する「新エネルギーシステム」の市の公共施設への導入状況について

(3)啓発活動・環境活動について

- ①東京都が設置した温暖化防止活動推進センターとの連携について
- ②小・中学校などにおいて、焼却施設・清掃工場・埋立地最終処分場見学やクリーンキャンペーンなど臨場感のある環境学習の推進実施状況について
- ③ヒートアイランド対策や緑の保全と再生に向けて、芝生化事業や既存建築物における屋上緑化や壁面緑化の促進状況について

A 【市長答弁】

(1)①本市では、将来にわたり持続的発展が可能な低炭素社会を構築するため「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、平成23年に温室効果ガス排出量削減の目標と地球温暖化対策を体系的に示した「府中市地球温暖化対策地域推進計画」を策定しました。

温室効果ガスのうち大きな割合を占める二酸化炭素の排出量にいて、政府が掲げる国全体の中長期目標に準拠し、平成32年度までに平成2年度比で15%削減することを目標に掲げ、省エネ型家電の導入や環境負荷の小さい事業用車両の導入など、市民・事業者の行動も含めた78の個別施策を示しています。

目標達成に向けた市の取組としては、市民や事業者の皆様への情報提供や普及啓発を行い、姉妹都市である佐久穂町との共同によるカーボンオフセットの実施や公共施設への太陽光発電システムの設置など、自らの環境に配慮した事業活動にも努めているところです。

【担当部長答弁】

(1)②本市では147台の公用車のうちハイブリッド車が3台(市長車、議長車、庁用車)、電気自動車が3台(環境政策課1台と庁用車2台)で「環境に配慮した車」は合計6台です。

引き続き、庁用車の買い替えに当たっては環境面にも十分配慮し、車種等を選定していきます。

(1)③二酸化炭素排出量削減のため、市民、事業者、市が、取り組む78の個別施策を設定しており「公共交通機関及び自転車の利用促進」についても重要な施策として位置づけています。

市民へのアピール方法としては、イベントや公共施設の利用の場合はホームページや広報、チラシなどにより「車での来場をご遠慮いただくよう」記載し、自転車の駐車場を用意するなど、環境に配慮した交通機関での来場を参加者や利用者にお願ひしています。

また、市民の身近な公共交通機関となっている「ちゅうバス」については、全戸配布の「わたしの便利帳」に路線図を掲載し、運行間隔や路線の見直しなど、利用拡大に努めています。

(2)太陽光発電システムについては、小中学校3校のほか、リサイクルプラザ、矢崎町防災公園、ルミエール府中、押立文化センターなど、合計8か所で導入しています。

太陽熱利用設備については、文化センター10か所をはじめ、特別養護老人ホームあさひ苑、心身障害者福祉センター、学校給食洗浄センターなど合計15か所で導入しています。

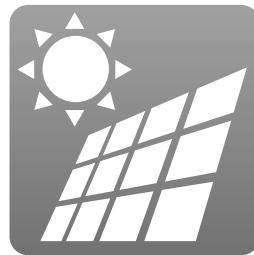
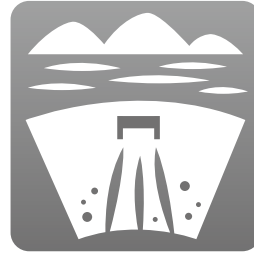
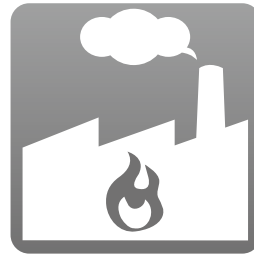
このほか、太陽光発電や風力発電システムで発電した電気を利用して外灯を小中学校や市営住宅、公園など11か所に19基設置しています。

(3)①「東京都地球温暖化防止活動推進センター」は地球温暖化防止活動の推進を図ることを目的に、平成20年4月に開設され、現在個人・事業者向けに「省エネ相談」や「省エネ診断」などを実施することや事業所向けに「燃料電池自動車」や「電気自動車等」の普及促進事業などを行っている「東京における地球温暖化防止活動の拠点」です。

本市では、同センターでの取り組みや地球温暖化防止のための取り組みを支援する制度などを市や環境保全活動センターのホームページで紹介しています。

今後も「府中市環境保全活動センター」が中心となり、「東京都地球温暖化防止活動推進センター」や東京都、他市町村と連携し、「地球温暖化防止活動」や「省エネ対策」を支援していきます。

(3)②施設見学としては、小学校4年生社会科で「廃棄物の処理」の学習と関連させ、クリーンセンター多摩川や江東区にある中央防波堤埋立処分場などを見学している学校があります。また、小・中学校では、学校近隣を始めとして、多摩川や浅間山などの清掃活動への参加や地域のクリーンキャンペーンへの参加な



ど、学校や地域の状況に応じて取り組んでいます。

そのほか、小学校において、水辺の楽校運営協議会の方々に協力いただき、多摩川の自然を学ぶ学校が数校あるほか、市内小・中学校においては、NPO法人と東京農工大学にご協力いただき、栽培用ネットやプランターでのゴーヤ栽培を実施し、環境への意識を高め、自ら働き掛ける実践力を育む教育をしています。

(3)③本市では子どもたちが自然にふれあう機会を増やし、砂じんの発生を抑制するため、ヒートアイランド対策にも資する校庭の芝生化事業を実施していますが、平成28年度末現在、小学校8校の校庭を芝生化しています。

既存建物における「屋上緑化」や「壁面緑化」の促進状況ですが、屋上緑化については、リサイクルプラザや押立文化センター、小中学校3校などで実施しています。

「壁面緑化」を実施している公共施設は現在ありません。



「府中市地球温暖化対策地域推進計画」の削減目標については、市長からご答弁いただき、ありがとうございました。多くの企業では、CO2削減対策の一環で企業の森として森林整備事業等を行ない、荒れ果てた森を整備し森を生き返らせることによって、より効果のあるCO2削減に向けた取り組みをしています。そこで、推進計画の目標達成と環境保全活動のさらなる推進施策として、

(1)府中市としては、カーボンオフセット事業など他市との共同による取り組みをしているとのことですが、具体的な事業とその成果について教えてください。

これに関連し、CO2削減ということでは、府中市地球温暖化対策地域推進計画の中間見直し案の中で、スマートエネルギー都市の構築について追記がされていました。いわゆるスマートコミュニティシティの構築、推進については、これまでの太陽光発電システムの普及などに加えて、企業との連携も含めた対応が必要と考えます。

(2)スマートエネルギー都市の構築に向けて、市として今後どのような施策を展開していくのか考え方を教えてください。

A 【担当部長答弁】

(1)長野県で実施している「森林(もり)の里親制度」を活用し、姉妹都市である長野県佐久穂町の森林を整備することにより、森林の二酸化炭素吸収量を増やし、それを、本市の市民生活において排出される二酸化炭素相当量の一部と相殺させる「カーボンオフセット事業」を平成23年度から実施しております。

成果としては、平成27年度を例にとると佐久穂町の森林16.79haを整備することにより、82.8tの二酸化炭素吸収量の増加に努めました。なお、平成23年度から平成27年度までの5年間の合計の二酸化炭素吸収量は累積で、955.8tとなり、容積を25mプールで換算すると約千個分になります。

なお、この事業と併せて、本市の小学生などが佐久穂町の森林で、間伐体験や自然観察などを行う、「森林間伐体験事業」を実施しています。

また、昭島市、調布市、日野市との4市で、環境監査員を相互派遣した「環境マネジメントシステム監査」を実施しているほか、

東京都の62市区町村で、共同事業として、環境・エネルギーに関する総合展示会「エコプロ」へ出展しています。

(2)太陽光発電システムや家庭用コージェネレーションシステムなどの導入支援を行う「エコハウス設備設置補助金交付事業」を実施するとともに、公共施設の設置に際しては、太陽光発電などの環境に配慮した設備の導入を進めるなど、家庭や事業所、公共施設におけるエネルギー利用の効率化・最適化に努めています。今後の施策の展開の考え方ですが、この取り組みを広げていくためには、より多くの家庭において環境にやさしい生活に取り組んでいただくこと、より多くの事業所に、環境にやさしい事業活動をしていただくことが重要です。

このため、市民、事業所、市の3者の協働による、スマートエネルギーの推進を目的としたネットワークづくりやコミュニティづくりを進めるため「スマートエネルギー・ネットワーク」や、「スマートエネルギー・コミュニティ」を構築するなど、さらに広がっていくよう検討していきます。

意見・要望

(1)長野県の「森林(もり)の里親制度」を活用し、姉妹都市である佐久穂町の森林を整備することによる「カーボンオフセット事業」を平成23年度から実施するとともに市内の小学生などが、佐久穂町の森林で「森林間伐体験事業」を実施し、小学生から間伐体験や自然観察を行っているということで、エコや省エネの意識向上のみならず、実際に自分の手で森林を守ることによって自然の大切さ、人が整備をしないと森は役目を果たさないということを体験し、肌で感じることは素晴らしいことだと思います。こういった事業は、府中市単独で進めていくには、予算面や人的にも限界があると思っています。

東京都の森林資源整備事業や花粉の少ない森づくり、民間企業で行っている企業の森や自然環境整備等との連携、協力も模索しながら進められないか、話し合いの場を設けて相互に知恵を出し合いながら進められる方向性を見出せるよう、検討していただくことを要望いたします。

(2)府中市地球温暖化対策地域推進計画の中間見直し案が作成され、今後、具体的なスケジュールや施策が示されると思いますが、スマートエネルギーシティ構築に向けては、エネルギーの最適利用とICT・データの利活用が重要な要素となってきます。

先進的な取り組みを進めている川崎市の取り組みを見ても官民連携による事業を手広く進めていることから、今後の府中市のエネルギーマネジメントの推進やインフラの高度化による安心・安全の確保について等の取り組みは、交通事業者も含め、法人市民としての企業との連携・協働が必要と考えます。企業との市民協働については、是非、官民の連携協力も取り入れながら、市、事業所、市民それぞれが何をしなければならぬのか、何ができるかの視点に立って、今後のスマートエネルギーシティ構築が、より具体的に計画されて実現することを期待するとともに要望とします。



府中市議会議員 清水 勝 プロフィール

1964年 山梨県北巨摩郡(現北杜市)生まれ
1983年 山梨県立甲府工業高校卒/㈱東芝府中工場入社/コンピュータ製造・試験・工程管理
1994年~2015年
◆東芝グループ連合・東芝労働組合役員/◆連合東京・連合三多摩・電機東京役員/◆府中市各種審議会委員等を歴任
2015年4月 府中市議会議員初当選(①2959票)
◆東芝グループ連合・東芝労働組合顧問
◆市議会
2015年度 建設環境委員会副委員長
2016年度 文教委員会委員/市庁舎建設特別委員会副委員長②/議会報編集委員会委員②/府中市交通安全対策審議会委員②/府中市総合計画審議会委員/三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会委員(道路)②

■清水勝HP



■Facebook



■清水勝ホームページ

<http://shimizu-masaru-fuchu.jp>

■Facebook

<https://www.facebook.com/shimizu.masaru.fuchu>

お気軽に
ご相談下さい

【連絡先】〒183-8511 府中市東芝町1番地 東芝労働組合府中支部内
TEL.042-333-6890 FAX.042-319-1481 E-mail:shimizu.masaru.fuchu@gmail.com